学校番号	1302

令和８年度　(学)共生科

教科	共生	科目	(学) ソーシャルケア入門	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	使用教材なし						
副教材等	使用教材なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

社会福祉に関する基礎的、基本的な知識を学びます。主に児童・高齢・障がいの 3 分野について、基礎的な技能、知識を身につけ、社会福祉の意義について理解を深めます。実際に福祉の現場を見学するなど、実践的な学習、体験も行います。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・社会福祉に関する基礎的な知識・技能を習得する。
【思考力、判断力、表現力等】
・授業を通して、自分の考えを表現し、福祉に関しての基礎的な「思考力」や「見方・考え方」を培う。
【学びに向かう力、人間性等】
・人間としての尊厳や認識を深め社会福祉の向上を図る態度を育てる

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会福祉に関する基礎的な知識を身につける。 社会の一員として役割を考え、判断することができる。 実践授業において、介護等に関する技術を身につけることができる。 状況に応じた適切な介護等を行うことができる。	学習したことを元に現代社会における課題を見出し、思考を深め、適切に判断することができる。 社会福祉に関するあらゆる事象を多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりと、さまざまな課題を視野に入れながら自ら考えたことを発したことを議論する。	各分野において興味・関心を持ち、誰もが幸せに暮らせるようよりよい社会の実現について、受身ではなく主体的に課題を解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	日本の社会福祉	・日本における社会福祉 ・社会福祉と社会保障の違い	a:社会福祉、社会保障の役割と意義について知る。 b:社会保障制度の今後の在り方について、諸外国の制度と比較しながら、多面的・多角的に考察する。 c:日本の社会福祉に関する課題について、他者と意見を交流し、課題解決にむけて意欲的に学習に取り組む。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
2	生活を支える社会福祉	・障害者福祉	a:障害者福祉の意義や日本にある障害福祉サービスについて知る。 b:体験学習などを通し、障害者の暮らしについて知り、社会にはどのような障壁があるのかについて考えを深める。 c:学習したことを踏まえて「障害がある人もない人も同じように暮らせる社会」にするために、どのような制度があればいいか、意欲的に考えることができる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
3	生活を支える社会福祉	・高齢者福祉	a:高齢者福祉の意義や役割について知る。体験学習を通し、高齢者の暮らしや介護福祉サービスについて知る。 b:学習したことや日本の現状をふまえ、高齢者福祉の在り方について考察する。 c:日本の高齢者福祉における課題について、解決策を考えようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度